

やみー・やみー・やみー

No.112

未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町913-3 TEL:0743-58-5225

2021年度累計供給高 597,604千円(前年比 96.2%)

2月20日現在組合員数 3,020名(前年比 98.9%)

検索してみてください

生活クラブ奈良



通信

生活クラブ生活協同組合

組合員の声で社会を変えよう！ 総代として、ともに生活クラブをつくっていきましょう

総代の役割



総代は、生活クラブ(奈良)の事業方針や運営方針に、組合員一人ひとりの思いを反映させるために、組合員の代表として、総代会で意見や要望を伝える役割を担っています。任期は一年です。

生活協同組合は、組合員が、自らの手で変わりゆく時代と共に自分たちの暮らしをより良くしていくために、組合員皆で出資、利用し、組合員自らが運営することによって成り立っています。似た価値観を持つ私たち組合員の多様な考えを共有しながら、生活クラブは暮らしや地域社会の課題解決に取り組んでいます。

総代会では、普段消費材を利用するだけでは実感しにくい生協の仕組みを知る事ができ、何より出会う機会の少ない組合員同士の交流の場にもなっています。

あなたの声を

出来るだけ多くの組合員の皆さんの「声」を私たち生活クラブ(奈良)の運営に活かしていくためにも積極的にご参加頂きたいと思えます。組合員であればごなだでも立候補できます。ぜひ

ひ、総代になって私たちと共に生活クラブ(奈良)の未来を築いていきましょう。
(理事 夏目有香)

3月下旬ごろ、総代募集の案内があります。組合員の皆さまの積極的な参加をお待ちします。

エリア活動はオンラインを活用し、それぞれ工夫



奈良エリア

オンラインのメリットを活かし、6月に今まで実現

2021年度、コロナ禍の収束が依然として見通せない中で、各エリアはそれぞれの年間計画に沿ってオンラインを最大限に活用しながら活動を進めました。経験の積み重ねから、事前配布による試食や参加者全員での同時調理などを取り入れ、オンラインでも生産者とのつながり・組合員同士のつながりを少しでも感じられるように工夫したものが多くなりました。

また各エリア代表が集まる「エリア活動委員会」を開催し、情報共有・意見交換の機会を作りました。より良いエリア活動につながる多くの情報をエリア間で共有し、エリアの状況に合わせて活動に反映させていくようになったことは大きな前進です。以下、各エリアの活動を簡単にまとめてみました。

生駒エリア

運営体制が整わず、年度前半は奈良エリアの活動に合流。2回の生産者交流会を共同開催し、活動をつなげることができました。生産者交流会は学ぶことがとても多く、消費材を知ることでも一層その消費材への関心を深める事につながった

困難だった日東富士製粉(株)との交流会を開催。大人気消費材ホットケーキミックスについて学習。8月の夏休み企画、日本果実工業(株)との交流会では、お子さんと一緒に各家庭で調理をしながら楽しみながら手間をかけて作られているツナ缶・みかん缶について楽しく学びました。11月には感染対策を行いながら、対象を新規加入者に限定して座談会を開催。加入して疑問に思う事への回答やおススメ消費材など、アットホームな雰囲気での交流できました。

中南部エリア

大変有意義な時間でした。年度後半は、独自の活動として生活クラブの『グリーンシステム』の広報に力を入れ、Rびん回収を呼びかけました。一層の周知を目指して活動を続けます。

中南部は広域であるため計画が組み立てにくいのが難点です。そのため、まず組合員同士がつながることを最優先に考え、組合員同士のおしゃべりを中心にした「よもやまおしゃべり会」に重点をおき、2回開催しました。エリア通信は目を引くように工夫を凝らして発行し、組合員の反応に手ごたえを感じました。今後も「よもやまおしゃべり会」を通じて、組合員の暮らしや地域の課題を共有できる場を作り、活動に活かしていきます。

生活クラブ(奈良) 公式Instagram



広報委員会では、このYummy3通信の発行とともに、公式Instagramを管理し、定期的に更新しています。

「生活クラブ奈良」で検索し、フォローしてください！ ページへの投稿とともに、ストーリーズの「やさしいBOXお届け明細」は週4回、「産直ニュース(納品書の裏面)」はカラー写真を毎週投稿しています。文章を書くのが好き！イラストを描くのが好き！ Instagramやホームページに興味がある方は、お力をお貸しください。



ちょっときいて！ このコーナーには、疑問・質問・言いたいこと・イラスト 何でも自由にお書きください。広報委員会で答えられない内容については、担当者にバトンを渡します。氏名の記載がないものは受け付けません。ご了承ください。

氏名

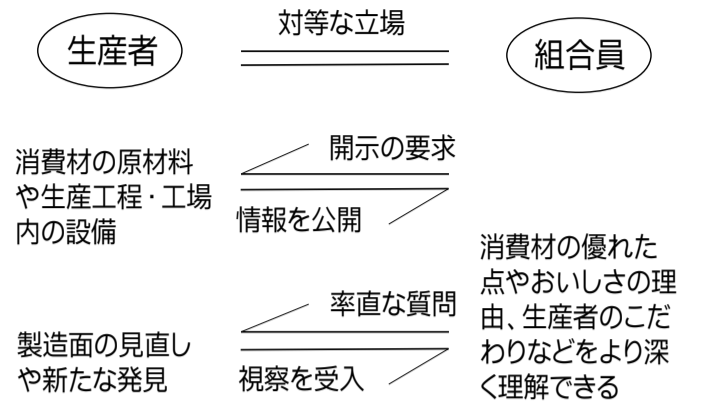
組合員番号

第一次 生活クラブ 2030 行動宣言

重要目標8 情報開示と自主管理を基本とし、自ら考え、決め、実行します。

『第8目標』は、SDGsに留まらない生活クラブらしさが詰まった独自の目標です。『消費材ステップアップ点検』は生産者との信頼関係が可能にしています。まさに生活クラブならではの活動です。組合員が消費材の生産現場（製造現場や圃場など）におもむき、どのように作られているか、共に決めた基準に沿ってきちんと作られているかを確認・点検する活動です。

消費材ステップアップ点検



独自の きびしい基準

『生活クラブの自主基準』は「生活クラブの消費材10原則」に基づき、組合員と生産者の代表が話し合い、合意を持って一つ一つ定めているものです。消費材に求める規格仕様と実現したい（目指すべき）推奨レベルがあり、生産者は消費材毎に自主基準の達成度合いを点検し、その結果を毎年生活クラブに報告しています。これを『自主基準登録』といひ、『消費材ステップアップ点検』の際の点検ポイントです。『消費材ステップアップ点検』は『生活クラブの自主基準』と一体になり消費材の更なる向上を目指す仕組みを作っています。私たちに身近な関西独自の消費材をより良いものにしていくためには、このステップアップ点検は欠かせないものです。普段から私たちは、消費材の優れた点やおいしさの理由、生産者のこだわりなどにについて、多くの組合員に伝え、利用拡大につなげようと小さな活動をつみかさねています。改めてこの第8目標を心に留め、活動を前進させていきたいものです。

2030 行動宣言 生活クラブ(奈良)での実践

- 「重要目標1」私たちは農産物の米や青果を登録という仕組みで食べ続けています。それは「いつ、誰が、どこで、どのように作ったか」を開示し、年間を通じて計画的に食べるということです。
「重要目標2」日本の四季や自然を生かした伝統的な食文化を大切に、不要な添加物、抗生物質、遺伝子操作をできるだけ減らします。
「重要目標3」「グリーンシステム」のR（リターナブル）びん回収活動に参加することで、組合員一人一人がごみを出さない暮らしを主体的に考えるきっかけづくりになっています。また合成洗剤ではなく、せっけんの使用を呼び掛けています。
「重要目標4」原発や火力ではなく、太陽光、風力、小水力の再生可能エネルギーを利用した「生活クラブでんき」に切り換えてもらうよう呼び掛けています。
「重要目標5」「エコロたすけあい制度」を道具にして地域で安心して暮らせるために繋がりを広げていこうとしています。
「重要目標6」急速に広がってきている社会の貧困や孤立の問題などを解決していくために他団体と活動を共有しながら、地域で人と人の繋がりを保ち、広げていきます。
「重要目標7」生活クラブは国内外の生産者と提携し、交流を続けています。1人の力は小さくても、集まれば社会を変える力になります。食を通して社会の課題を解決します。
「重要目標8」利益・不利益にかかわらず、安全・健康・環境に影響を及ぼす情報を開示し、組合員と生産者が対等の立場で、管理・点検を進めています。

簡単お料理レシピ

《イカとじゃがいもの炒め物》

材料（2～3人分）

- そのまま使えるすめいか（リング）150g
じゃがいも 4個
玉ねぎ 1/2個
にんじん 1/3個程度
☆調味料
バター 大さじ 1.5～2
しょう油 大さじ 1.5
小麦粉 大さじ 1（イカにまぶす用）
なたね油 大さじ 1（炒め用）



作り方

- ①じゃがいもは茹でる。玉ねぎは薄切り。にんじんはいちょう切り。
②イカの水分をとり小麦粉をまぶす。
③フライパンになたね油を熱して、イカ以外の材料を炒める。
④野菜に火が通ってからイカを入れ、一緒に炒める。イカに殆ど火が通った頃にバターを入れ、炒める。最後にしょう油を回しかける。

編集後記

人と人の距離は難しい。人それぞれに心地よい距離感がある。長い付き合いでも距離が縮まらない関係や、時間に関係なく距離が縮まる時もある。以前、若い女性とひと月位、二人で仕事をしていた期間があった。お昼休みやお茶の時間も共有し「人間関係の距離を縮めるのが上手いですね」と言われたことがある。その人はカフェに行っても、横並びを好んだ。心理学の傾聴講座を受けたことがあり、相談や傾聴の時は対面ではなく視線をずらしやすい横とか斜めに座るのがいいらしい。動物との距離もなかなか面白い。一年半の付き合いのノラ猫がいて、とうとうより今ではウチの猫？最初はテラスでフードをあげていた。寒くなる頃に部屋に入り、今では1日の九割を我が家で。家族の中で唯一私の膝で寝るようになり、毛並みも美しくノラ猫と思えない。（野口八重子）

未来のために、今

（まとめにかえて）

今年度の広報活動の一環として、生活クラブ2030行動宣言「8つの重要目標」を各目標に沿って、奈良での具体的な活動に照らし合わせて発信をしました。それは私たちの活動の振り返りにもなりました。組合員一人一人が「気候危機の常態化」「食料危機」「国内自給率」「エネルギー問題」「環境保全問題」「地域で安心して暮らすための繋がり」など自分事として捉えて、これまでより複雑になっていく社会問題を一つでも一歩でも解決するために行動を起こしてほしいと思います。協同

組合は組合員が自発的に手を結んだ人々の組織であり、単に食材の宅配ではありません。また食材を利用するだけではなく、組合員の役割「出資・利用・運営」の「運営」に参加して、未来の子どもたちが安心して暮らせる持続可能な社会を築いていくために、今私たちは何をすべきかを一緒に考えていきたいと思います。（理事長 甲斐京子）

No. 111号 アンケートに寄せられた意見

- ・オンライン開催は、移動時間がかからないので時間が合えば参加している。
・オンラインは参加しやすいが、対面のすばらしさも大切にしたい。（中南部エリア 大貫道代）

・ATJのオンライン交流会に参加しました。エビの養殖、バナナ栽培の背景など、内容がととてもよく分かった。社会に環境に人々にやさしい有益な生産者に、収益を伴う支援は本当に多くの人でわかり合いたい。（奈良エリア 秋岡あゆみ）